



特定非営利活動法人

名称変更しました!

日本がん登録協議会 (旧称: 地域がん登録全国協議会)

JACR Japanese Association of Cancer Registries

NEWSLETTER

年2回
発行

JACR ニュースレター

July.2018 No.45



2005年
保健文化賞
受賞



2016年
朝日がん大賞
受賞

がん患者学会2017 J-CIPセミナー報告



伊藤 ゆり 専門委員

大阪医科大学 研究支援センター 医療統計室

平成29年12月16~17日に大阪国際がんセンターにおいて、全国がん患者団体連合会(全がん連)の主催するがん患者学会2017が行われました。その中の一部として、初日午後には日本がん登録協議会(JACR)との共催イベントとしてJ-CIPセミナーが開催されました。J-CIPプロジェクトはご存じのように、2017年6月にJACRと全がん連が協定締結し始めた、社会のためにがん登録資料を活用する協働プロジェクトです。昨年の鹿児島で開催された日本公衆衛生学会学術総会の自由集会に続いて二度目の共同開催イベントでした。がん患者学会は今年で三回目となるがん患者団体の皆様の学びの場となっており、その貴重な機会にJ-CIPセミナーを共同開催させていただいたことを感謝申し上げます。



会場のようす

セミナーのテーマは「医療施設別データの見方:生存率や統計の基本と海外での事例紹介」で、「医療施設別データ」をテーマとして、全がん連・天野慎介理事長、JACR・片山佳代子

監事の座長の進行により、がん登録の活用に関して知っていただくとともに、がん患者・ご家族の皆さんにとって、本当に必要な情報は何かについて、意見を出し合う機会とさせていただきました。

一つ目の講演は「施設別データを読み解くための統計的基礎知識~がんの生存率やデータのばらつきの考え方~」として、伊藤がお話しさせていただきました。がん生存率データを見る際のポイントとして、母集団・代表性の考え方やがん種・性・年齢・進行度など生存率に与える要因について、また、

生存確認調査の方法や対象人数によるばらつき・信頼区間などの統計的な観点について紹介しました。

二つ目の講演は大阪国際がんセンターがん対策センター森島敏隆先生より、「英国における病院評価や施設別データ提示の事例紹介」についてお話しいただきました。病院評価の情報開示のデータ基盤が整っている英国での事例について、患者向け、医療従事者向けに分けられた情報開示について、わかりやすくご紹介いただきました。二つの講演の詳細は



総合討論のようす

日経メディカルがんナビの記事に紹介されていますので、ご参照下さい。

総合討論では、患者・家族が本当に知りたいのは、自分の病状・治療法にぴったりくる情報で、がん登録資料だけでは提供できない詳細な情報であるとの意見も出され、各種臨床情報とのリンケージの重要性についても議論されました。

がんナビReport: 医療ジャーナリスト・福原麻希記者

病院別の「生存率ランキング」、病院選びに役立たない理由は?

<http://medical.nikkeibp.co.jp/leaf/all/cancernavi/report/201803/555182.html>

イギリスの驚きの「国民による病院格付け評価」

病院選びは治療成績だけが重要ではない

<http://medical.nikkeibp.co.jp/leaf/all/cancernavi/report/201804/555408.html>